



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 マーソ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5619 URL <https://www.mrso.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 西野 恒五郎
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 井口 聖一朗（TEL）03-6435-6692
 経営企画室長 CFO
 半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	527	—	△42	—	△41	—	△29	—
2024年12月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年12月期中間期 △34百万円（—%） 2024年12月期中間期 —百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	△8.36	—
2024年12月期中間期	—	—

（注）2024年12月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期中間期の数値及び対前年中間期増減率については記載しておりません。また、2025年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2025年12月期中間期	2,183		1,987		91.0
2024年12月期	2,256		2,022		89.6

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 1,987百万円 2024年12月期 2,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,333	0.0	36	△76.6	36	△76.6	25	△74.3	7.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期中間期	3,552,750株	2024年12月期	3,552,750株
2025年12月期中間期	72株	2024年12月期	72株
2025年12月期中間期	3,552,678株	2024年12月期中間期	3,550,151株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

「2025年12月期 第2四半期決算説明資料」はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間との比較・分析の記載はしていません。参考情報として、2024年12月期中間会計期間(単体)と2025年12月期中間連結会計期間との比較・分析を一部記載しております。なお、連結子会社であるMRSO ASIA Co., Ltd.においては、当該期間に外部に対する売上計上がなく、連結による売上高への影響はございません。このため、単体と連結を比較しても実質的な差異はないものと考えております。

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善もある一方で、ウクライナ情勢、中東情勢や米国の今後の政策動向など、先行き不透明な状況と与える影響に注視が必要な状況が継続しており、国内外における経済的な見通しは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは、健康寿命の8年延伸を目指し『+8Y健康長寿社会の実現』をミッションに掲げております。そしてアナログ業務からデジタル業務へのDXを推進して、個人・法人・行政・医療施設をつなぎ、予防医療のアップデートの実現に向け、事業を展開しております。

当社グループのセグメントは、ヘルステック事業の単一であります。サービス提供内容に応じて、「予約」、「広告」、「DX」と「ワクチン」(ワクチン売上は、前年度にてサービス提供を実質的に終了しております。)に区分しております。

(参考)

サービス提供区分別売上	2024年12月期 前中間会計期間 (単体)		2025年12月期 当中間連結会計期間	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
予約売上	314,500	46.1%	298,318	56.6
広告売上	132,712	19.4%	149,756	28.4
DX売上	74,014	10.8%	77,978	14.8
ワクチン売上	161,616	23.7%	966	0.2
売上合計	682,844	100.0	527,020	100.0

予約売上においては、人間ドック・健診予約サイト「MRSO.jp」を通じて、医療施設の予約数拡大に向けたマーケティング支援を行っております。当中間連結会計期間は、継続的な営業活動を通じた「MRSO.jp」の掲載医療施設数の拡大を推進した他、法人予約を本格的に開始しました。25年4月に開始した法人予約(会社や健保組合が従業員およびその家族に対して実施する健診の予約)については、売上への本格的な貢献を来期以降に見込んでいる中、個人予約がGoogle検索アルゴリズムのアップデート等により、一部キーワードの検索順位が低下し、自然流入数に影響が出たことで、予約売上が前年同期比で減少しております。

広告売上においては、「MRSO.jp」トップページに設けた特集ページ等を通じた医療施設の露出量増加や企業との提携を通じた「MRSO.jp」でのプロモーション実施等を行っており、広告サービスの利用数拡大やその利用単価向上に取り組んでまいりました。

DX売上においては、医療施設や市町村を中心とする行政、法人に対して、主に業務効率化に資するWEB予約システムの提供を行っております。

ワクチン売上については、新型コロナウイルスワクチン接種等に関する各種WEB予約システムについては、国の接種方針の大幅な変更にともない、一部を除き自治体のワクチン接種体制が終了したことから、サービス提供を実質的に終了いたしております。

これらの結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は527,020千円、営業損失は42,381千円、経常損失は41,580千円、親会社株主に帰属する中間純損失は29,713千円となりました。なお、当社グループはヘルステック事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産は1,971,978千円となり、前連結会計年度末に比べ134,417千円減少しました。これは、現金及び預金が6,156千円増加したものの、売掛金が126,219千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産は211,252千円となり、前連結会計年度末に比べ60,835千円増加しました。これは、投資その他の資産が62,018千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債は195,484千円となり、前連結会計年度末に比べ38,968千円減少しました。これは、買掛金が16,777千円減少、未払法人税等が29,126千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は1,987,746千円となり、前連結会計年度末に比べ34,613千円減少しました。これは、親会社株主に帰属する中間純損失の計上により利益剰余金が29,713千円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,815,552千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は65,344千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失の計上41,580千円、売上債権の減少額126,219千円、仕入債務の減少額16,777千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は50,226千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出49,725千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は3,996千円となりました。これは、長期借入金の返済による支出3,996千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年2月13日付の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,809,396	1,815,552
売掛金	250,633	124,413
その他	46,572	32,105
貸倒引当金	△205	△92
流動資産合計	2,106,396	1,971,978
固定資産		
有形固定資産	411	537
無形固定資産	6,567	5,258
投資その他の資産	143,437	205,456
固定資産合計	150,416	211,252
資産合計	2,256,812	2,183,230
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,002	16,224
1年内返済予定の長期借入金	7,366	3,370
未払法人税等	31,432	2,305
契約負債	21,154	36,569
賞与引当金	5,237	5,397
販売促進引当金	1,998	1,302
その他	134,260	130,315
流動負債合計	234,452	195,484
負債合計	234,452	195,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	122,351	122,351
資本剰余金	329,541	329,541
利益剰余金	1,573,995	1,544,282
自己株式	△115	△115
株主資本合計	2,025,773	1,996,059
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,412	△8,312
その他の包括利益累計額合計	△3,412	△8,312
純資産合計	2,022,360	1,987,746
負債純資産合計	2,256,812	2,183,230

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	527,020
売上原価	122,556
売上総利益	404,464
販売費及び一般管理費	446,845
営業損失(△)	△42,381
営業外収益	
受取利息	644
為替差益	67
その他	106
営業外収益合計	817
営業外費用	
支払利息	16
営業外費用合計	16
経常損失(△)	△41,580
税金等調整前中間純損失(△)	△41,580
法人税、住民税及び事業税	237
法人税等調整額	△12,104
法人税等合計	△11,866
中間純損失(△)	△29,713
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△29,713

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純損失(△)	△29,713
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△4,900
その他の包括利益合計	△4,900
中間包括利益	△34,613
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△34,613
非支配株主に係る中間包括利益	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純損失(△)	△41,580
減価償却費	2,197
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△112
賞与引当金の増減額(△は減少)	185
販売促進引当金の増減額(△は減少)	△696
受取利息	△644
支払利息	16
売上債権の増減額(△は増加)	126,219
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,777
契約負債の増減額(△は減少)	15,414
その他	7,681
小計	91,904
利息及び配当金の受取額	644
利息の支払額	△16
法人税等の支払額	△27,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△258
無形固定資産の取得による支出	△240
投資有価証券の取得による支出	△49,725
敷金及び保証金の差入による支出	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,226
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△3,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,996
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,966
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,156
現金及び現金同等物の期首残高	1,809,396
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,815,552

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、ヘルステック事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。